

令和 2 年度事業報告

令和 2 年 4 月 1 日から

令和 3 年 3 月 3 1 日まで

深谷市シルバー人材センターは、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、シニアの豊かな知識・経験・技能・技術を活かした就業と社会参加の場を提供するとともに、地域における人手不足に対応してまいりました。

今年度は、当センターの指針である「第 2 次中期計画」の最終年度でありましたが、4 月に新型コロナウイルス感染症の拡大に対し緊急事態宣言が発出され、その後も第 2・第 3 の拡大が続き、コロナ禍での事業の推進は、厳しいものとなりました。このような状況の中、会員増強及び就業機会拡大のため、市広報や商工会議所・商工会広報へのチラシ折込、市役所新庁舎ロビーでの P R パンフレット配布及び入会案内・お仕事相談などの普及啓発活動を行いました。また、派遣会員及び接客業務に従事する会員を対象とした、接遇研修を実施いたしました。

事業実績の概要は、受託事業では契約金額 5 億 1,911 万 1,943 円（前年度比 9.7%減）、就業延人数 98,076 人（前年度比 12.6%減）年間就業率 85.7%となりました。また、労働者派遣事業は、契約金額 2,257 万 9,604 円（前年度比 23.8%減）、就業延人数 3,968 人（前年度比 17.2%減）となり、事業合計では契約金額 5 億 4,169 万 1,547 円（前年度比 10.3%減）、就業延人数 102,044 人（前年度比 12.8%減）となりました。

今後もさらに関係各位のご支援、事業主及び市民の皆様のご理解とご協力をいただきまして、シニアにふさわしい魅力あるシルバー人材センターを目指して、会員の皆様とともに事業運営に努力してまいります。